

(様式3)

## 自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「私達は地域に開かれた地域に愛される地域に信頼される施設を目指します。」を理念としている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>月1回職員会議で施設理念を暗誦したり、グループホームにおいても掲示し、意識付けている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>グループホーム運営推進会議でグループホームの実態や認知性について報告し理解をして頂いている。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>友人・知人等が面会に来られ、日常生活状態を説明し、再度、訪問と交流の依頼をしている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地元の知人や友人の面会も多く、又、地域のボランティアの訪問は200名程になる。8月18日には恒例の納涼祭があり、700名程来園され盛況である。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	全職員が理解されるように一緒に評価を行い、共通認識を持つ様、努力している。	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	3ヶ月に1回、会議の場において利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その場での意見をサービス向上に活かしている。	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	2ヶ月に1回、加西内のグループホーム連絡会に参加し、その場で情報交換し、日々の介護に役立っている。	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		研修等があれば積極的に参加し、学ぶ機会を持ちたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	毎月1回の職員会議の場において研修課題として学ぶ機会を持っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の方へ異動になる事の説明、そして、新職員の紹介を利用者全員の前で行い、不安なく対応している。		職員の入れ変わりがあった際、一人の利用者の方は明るくなり、何事も積極的にされるようになった。(居室掃除・水遣り・庭掃き等)このような利用者の方の気持ちも大切にしていきたい。
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の職員会議でグループホーム内での話し合いを行うと共に職員の掲示板を設けて疑問点があれば随時、職員全員で話し合っている。(その他)法人内外研修等がある時は参加させて頂いている。		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回、グループホーム(希望している)の代表者が集まり、連絡会前に話し合いたい議題を決め、それについて意見交換している。(グループホーム連絡会)		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会からの旅行等の行事参加		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	法人目標(経営理念・経営方針)を掲げて、毎年グループホーム目標を職員全員で考え取り組んでいる。又、月1回の職員会議の場において、中間報告・最終報告を行い、職員個々の努力を把握している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	利用開始前に職員が利用者又は家族に面会するようにしている。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	何か相談等があれば、いつでも連絡して頂けるようにその都度声かけしている。	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	利用者・家族の意向を尋ね、相談された内容をまとめ介護支援専門員と話し合うようにしている。	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用開始前に施設見学や必要であれば職員が利用者と面会している。又、事前に生活記録表等を記入して頂き、利用者が馴染める様に工夫している。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	昔からの風習・慣習を利用者の方から学ぶ事も多く、料理の中でも梅干作り、野菜作り等も教えて頂いている。掃除は毎日日課として一緒に行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>利用者との関係のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者からの意見はしっかり傾聴し、職員全員で話し合い、可能な限り、希望に添うように対応している。又、介護サービス計画作成時には希望、意向の把握に努める。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活暦を確認すると共に利用者をよく理解し、得意な事を一緒に行ってもらうように援助している。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>個々の毎日の状態・一日の過ごし方については、週間ケアチェック表に記入し、職員全員が把握出来るようにしている。(色ペンを使い分かりやすく申し送りをしている。)</p>	
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者のニーズを把握し、利用者・家族と話し合いながら作成している。出来ている事を継続して頂くような介護サービス計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて、利用者・家族と相談し見直しを行っている。(急な状態変化時は随時見直しを行っている。)</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態を細かく毎日週間ケアチェック表に記入し、特に申し送りの必要な状態の方については、介護日誌に記録している。直接、介護サービス計画の見直しに役立つよう、原本に記入している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療処置を受けながらの生活維持や24時間体制での健康管理はもちろんの事、週何度かの定期往診がある。悪くなって受診するよりも週何度か診て頂く事で医療予防にも繋がる。又、夜間の応援体制もある。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎年1年間近隣の高校生が授業の一環としてボランティアに来て頂いている。		
41	他のサービスの活用支援  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用するための支援は現在の所、行っていない。		
42	地域包括支援センターとの協働  利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議で市の健康長寿課の職員との連携は図っている。		今後、必要性に応じて、地域包括支援センターと協働していきたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設内にそれぞれ専門の嘱託医がいらっしますが、家族等の希望に合わせ、他の医療機関への受診もして頂ける様に配慮している。		
44 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	介護保険証更新時や変更時等においては、長谷川式等を利用して認知症の判断を行い、それぞれの方に合ったサービス等を行っている。又、地域の精神科開業医も電話にて相談して頂ける。		
45 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設の特養に看護職員がいらっしゃるので、その都度、健康面等の相談を行い、助言、アドバイスを頂き、サービスにつなげている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院時を含め、全職員が状態を把握し、医療機関との連携を図っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に関しましては、利用者・家族の意向を尋ね、又、かかりつけの医師と相談し、一人ひとりの方針を全職員が把握している。又、緊急時におけるマニュアルを作成している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期での酸素・点滴等の必要性を十分、家族に説明し理解、承諾を得た上で併設の特養と連携し緊急時による酸素、医師の指示を仰ぎ、看護師による点滴の許可を頂いている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>要介護から要支援に変更され自立支援に向けて在宅復帰をされた利用者が2名いらっしゃる。別の居所へ移られた方には家族の協力を得て、十分な話し合いの場を持ち、理解して頂いている。</p>	
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの職員が声かけに対する意識を強く持っている。又、個人情報は施設内で保管し外部に持ち出さないよう、徹底している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>一人ひとりの利用者の希望・要望に添えられるよう、職員全体で話し合いを行っている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>毎日の暮らしの中から変化を加え、利用者の行きたい場所を尋ね、外出として買物やドライブに出かけている。又、利用者の得意な事を見つけ、事前準備をした上で一緒に行っている。</p>	
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎日、その日の気分によって利用者が衣服を選んでもらわれる。中には職員が尋ねて衣服を選んでおられる方もいらっしゃる。又、月1回、外部より理容師が来られるので、希望者のみ利用して頂いている。外出、行事の日はお化粧をされている方もいらっしゃる。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>全利用者の意向を尋ねた所、入浴は今ぐらいのペースで丁度いい、と話される。曜日や時間帯を決めてしまわずに利用者個々の希望に応じて入浴を支援していきたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>一人ひとりの得意な事を見つけ、事前に準備した上で職員と共に行っている。(料理・洗濯物干し、たたみ・掃除・レクリエーション・歌等)</p>


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	3名の利用者はお金の管理をされている。買物時はその方の好みの物を購入される。又、何人かの利用者は家族よりお金を預かり、職員が管理し、必要時に本人に渡し好みの物を購入して頂いている。その都度、出納帳に記入している。		
61 日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	屋内外での散歩は毎日行っている。月1回は利用者の意向を尋ね、買物・ドライブ等の外出を計画している。年2回、家族との親睦を深める為、外出・食事を計画している。		
62 普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節感を味わう為、季節折々の景色を見にドライブに出かけている。		一人ひとりの行ってみたい所等の要望を聞き、出来る限りの要望を聞き入れられるよう、職員間で話し合い計画へと進めて行きたい。(お墓参り・友人宅等)
63 電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	何人かの利用者は併設に設置されている公衆電話を使用されたり、家族・友人宛に葉書を書いている。又、日記を書いておられる方もいらっしゃる。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	24時間面会出来、各居室には椅子も用意しておりいつでも訪問して頂ける。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベット柵については排除していくように話し合いの場を持っている。又、6月より併設の特養と共に拘束委員会に出席している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵は開いており、24時間外へ出たい時には出て日光浴が出来る。		
67 利用者の安全確認  利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日々、利用者の状況を把握し、歩行時には靴はしっかり履けているか、杖を持っておられるか等、職員全員が一つひとつ確認し、安全に心掛けている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室にハンドソープを置いているが、利用者によっては口に入れられる危険性がある為、利用者の状態に合わせ、手の届きにくい所に置き、使用時は職員が付き添っている。		
69 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを記入し、必要に応じて、職員間で再発防止について話し合いを行っている。誤薬がない為にも一人ひとりの薬を確認し、手渡している。		
70 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時のマニュアルを職員個々が確認し、緊急時に備えている。		応急手当など、医師・看護師に尋ね、定期的に訓練を行いたい。
71 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自衛消防組織が構成してある。年4回非難訓練を実施している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	現在の利用者個々の状態、状況を説明し、リスクの伴う利用者には十分、職員間で話し合い、快く暮らして頂ける様、配慮している。又、法人のリスクマネジメント委員会にも参加している。		
73 体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化や異変があれば、即報告しあい、早期発見を考え、対応している。又、起床後は常に表情観察を行っている。		
74 服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一冊、お薬手帳を持っていて、用法・用量・目的等入目で分かるようになっている。又、薬は利用者に手渡して確実に服用される様、見守っている。変化のある時は、主治医に連絡している。		
75 便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給を促したり、便薬を服用し、排便コントロールを行っている。又、食事面においても食物繊維を摂って頂く等の工夫をし、調理している。		
76 口腔内の清潔保持  口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨き、義歯の方も外して頂き、職員見守りの中、磨いている。又、週3回就寝前にはポリデント消毒を行っている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の特養の栄養士に献立を立てて頂き、アレンジ等行っている。一日の尿量を合わせ、水分量も把握している。朝10時のお茶には皆さんの飲みたい物を尋ね、提供している。月1回、体重計を計り記録している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	入浴後にはかけ湯の後、六十〇ハップを使用している。軟膏を塗布する際は、使い捨て手袋を使用している。又、感染予防に対する注意事項の配布と説明を受け、常時手洗い・うがいを行っている。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日の食材を近隣のスーパーより配達して頂いている。調理場、調理用具は毎日の食事当番が丁寧に洗浄し、食器乾燥機で乾かし清潔に心がけている。又、肉・魚等の臭みのある食材は牛乳パックを使用している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには沢山の花を栽培し、華やかに明るい雰囲気を作っている。又、花の水やりや手入れ等も職員と利用者が共に行っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節の花を利用者と共に生け、白壁で広々と明るく過ごしやすい空間である。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先にはベンチを設置しており、利用者同士が日光浴を浴びながら、楽しく会話をされている。又、各居室には椅子があり、仲のいい利用者同士が楽しく、思い思いの時間を過ごしておられる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭で使い慣れているタンスや机等、馴染みのある物を使用されている。お箸・お茶碗は利用者の好みの物を使われている。		一人ひとりお箸・お茶碗に合った食器類(お皿・小鉢等)を使われ、馴染みのある食器を増やしていきたい。
84 換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、掃除時には換気を行い、各居室のエアコン調節も利用者に温度を尋ねたり、職員が直接温度を肌で感じる等、こまめに対応している。共用空間においてもこまめに調整し、気配りに心がけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・浴槽は必要な所に手摺を付けて頂いている。浴槽の中、洗い場には滑り止めマットも小さいサイズから床全体に面した大きなマットに変更している。		
86 わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る事は利用者にして頂き、出来ない部分は見守り、そっと手を貸すといった介護を職員全員が心がけている。		
87 建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にはベンチが設置しており、天候の良い日は日光浴をしたり、お茶を飲んだりする等楽しまれている。又、中庭は、ミニ畑を作り、旬の野菜を栽培し収穫する事で利用者が毎日楽しみにされている。		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・食事が美味しく食べられ、誤嚥しないよう、毎食前に口体操を取り入れている。 ・ミニ野菜作り ・5年間で年4回続いているたんぼぼ便り(家族・利用者・職員の親睦を深める) ・初の利用者と職員が共に梅干し、梅酒作りをした。(利用者から教えて頂く事も多々あり、共に支え合っているな、と実感した) ・機能低下が見受けられる為、散歩、筋力トレーニング、リハビリ体操を取り入れ、現状維持を心掛けている。 ・笑う事により認知症の進行を遅らせるという説があり、又、ストレス発散にもなる笑いを取り入れている。(綾乃小路きみまる、ドリフターズのテープを流し聞いて頂いている。) ・24時間いつでも面会が出来、気兼ねなく家族の方、友人がお立ちより出来る。